

ふみびと

第306号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

相手を想う 秋の夜長

ゆとりの気持ち

文章を書くのが遅い。

誰と比べたわけでもないのにそう自覚しているほどの遅筆である私。それはきつと読んだ相手がどんな風に思うかを考えて、より自分の思いに近い言葉を選ぶことに時間を費やしてしまつから。

本当はそんなに深く考えなくても、思いのままに筆を走らせてもいいのかもしれないけれど、生来の心配性で慎重で臆病な部分がやはりそれを許してくれないようです。

でもそんな風に思いを巡らせる時間が手紙を書くときの醍醐味でもあるようにも感じて、特に急ごうとはしていないのかもしれないませぬ。

もちろんビジネス文書などだったらそんなに時間をかけることがいいことではないのですが、自分の時間がある限りそれを許してくれるのが手紙の懐の広さ。

相手を想う時間をゆとり取り取ることも楽しみの一つのように思っています。



す。

人のために時間を使う、というが大袈裟だしおこがましいことかもしれないけれど、そんな気持ちの余裕を持てる時間を作ること、忙しい毎日の中ではあってもいいような気がしています。

スマートフォンのおかげで、電車の中や誰かを待っている時など、退屈せずに過ごしているられるようになった便利な

自分の言葉

言葉には人となりあらわれる。言葉を知るだけで、相手が女性か男性か若いのか年配の方なのか、なんとなくわかる。優しい人、快活な人、穏やかな人、そうした性格まで感じ取れる気がする。

じゃあ、自分は？と考えてみるけれど、自分のこととなると途端にわからなくなる。いつも話してい

る自分を思い出そうとしてみてもうまくいかない。スマホに残る文字を見てみてもどうもしっくりこない。手早く伝えようと並べた言葉は、自分ではない誰かのものにたいに見える。そして気づいたの

は手を動かして書いた言葉が、一番自分らしいのではないかということ。頭と体をじっくり通って出てきた言葉、予測変換なしのその言葉が、今の自分を表しているように感じる。ゆつくりと書

いた言葉を、ゆつくりと読み、自分を振り返る。この秋はそんな時間をとりたいたいと思う。

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒の筒にそのまま封下まで流し交り



お知らせ

10月の発送日

10月の発送は17日、31日の予定です。送りたいお手紙がある場合には、それぞれ3日前（14日または28日）までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

マイページ

文通村のマイページ（WEB上からログインできるページ）ではふみ友リスト、メモ機能、それぞれの更新期限表示、おすすめ村人、カード決済による自動更新など便利な機能が追加されています。ログインがまだの方はぜひ一度お試し下さい。